

延岡市社協・佐伯市社協間災害時相互応援協定

(趣旨)

第1条 延岡市及び佐伯市の社会福祉協議会（以下「協定社協」という。）は、当該市において災害が発生し、被災した市町社会福祉協議会（以下「被災地社協」という。）独自では十分な災害救援活動が実施できないときに、協定社協が相互に協力して応援を行うため、必要な事項について定めるものとする。

(定義)

第2条 この協定において、災害とは災害対策基本法第2条第1号に規定する災害のうち、災害救助法が適用される災害をいう。

2 前項に規定する災害のほか、住民生活に甚大な支障が生じる災害で、被災地社協から応援要請がある災害とする。

(連絡窓口)

第3条 協定社協は、あらかじめ本協定に関する連絡担当部署を定め、災害が発生したときには、速やかに必要な情報を相互に伝達するものとする。

(応援の内容)

第4条 応援の内容は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 災害救援活動に必要な職員の派遣
- (2) 災害救援活動に必要な車両及び資機材の提供
- (3) その他応援のための必要な事項

2 応援職員の行う災害救援活動は、次のとおりとする。

- (1) 災害救援活動を行うために必要な情報収集
- (2) 災害ボランティアセンターの運営支援
- (3) 生活福祉資金特例貸付の業務支援
- (4) その他応援のための必要な事項

(応援要請の手続き)

第5条 応援を要請しようとする被災地社協は、協定社協に対して次に掲げる事項を明らかにして、電話等で行い、事後において速やかに文書を提出するものとする。

- (1) 被害状況
- (2) 前条に掲げる応援内容の種類、内容及び人数
- (3) 応援を希望する期間
- (4) その他必要な事項

2 協定社協に直接応援要請を行った被災地社協は、速やかに応援内容を県社協に対して報告するものとする。

(応援の実施)

第6条 応援を要請された協定社協は、被災地社協の応援に努めるものとする。

2 被災地社協以外の協定社協は、災害の実態に照らし、特に緊急を要し、被災地社協が前条に定める要請ができないと判断される場合には、同条の要請を待たないで、必要な応援を行うことができるものとする。この場合は同条の要請があったものとみなす。

3 前項の応援を行おうとする協定社協は、応援内容を県社協に対して報告するものとする。

(応援職員の指揮)

第7条 応援職員は、応援を要請した被災地社協の指揮の下に災害救援活動に従事するものとする。

(経費負担)

第8条 応援に要した経費は、原則として応援する協定社協の負担とする。ただし、特段の事情がある場合は、当事者間の協議によるものとする。

(平常時の任務)

第9条 この協定に基づく応援が円滑に行われるように、協定社協は、自らの応援能力等を正確に把握するものとする。

2 前項の規定による応援能力を相互に把握するため、年1回以上、連絡会等を開催して応援に必要な情報の交換をするものとする。

(他の協定との関係)

第10条 この協定は、協定社協が別に締結した他の協定を排除するものではない。

(その他)

第11条 この協定の実施に関し必要な事項又はこの協定に定めのない事項については、協定社協が協議して定めるものとする。

(効力発生の時期)

第12条 この協定は、平成25年1月25日から効力を生じる。

この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、押印の上、各1通を保有するものとする。

平成25年1月25日

社会福祉法人 延岡市社会福祉協議会
会長 柳 田 泰 宏

社会福祉法人 佐伯市社会福祉協議会
会長 恒 松 芳 洋